

事務事業名		ごみ処理費等負担金事業 (ごみ処理費負担金支出)		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画掲載事業	<input type="checkbox"/> 総合戦略掲載事業																										
政策体系	政策名	0 6 自然豊かな環境の保全と創造		事業期間																											
	施策名	2 1 廃棄物処理対策の推進		区分																											
	基本事業名	0 1 1 ごみの減量化とリサイクルの推進		単年度繰返																											
根拠法令		-		※期間欄に開始年度を記入																											
所属	部課名	市民生活部市民環境課		【開始年度】																											
	課長名	鈴木 康代		昭和45 年度～																											
	係名	環境衛生係	電話	0192-27-3111																											
	担当者	米田 大祐	内線	124																											
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)				全体計画(※期間限定複数年度のみ)																											
<ul style="list-style-type: none"> 大船渡市及び住田町を構成団体とし、両市町の一般廃棄物を収集し、適正に処分するために設置した「大船渡地区環境衛生組合」に負担金を支出する。 具体的な業務は以下のとおり。 ①負担金の支出、②組合議会・幹事会等開催時の連絡調整、③組合関連議案作成 ・事業費は、負担金として支出される。 				<table border="1"> <tr><td rowspan="7">総投入量 (千円)</td><td rowspan="5">事業費</td><td>財源内訳</td><td>国庫支出金</td><td></td></tr> <tr><td>都道府県支出金</td><td></td></tr> <tr><td>地方債</td><td></td></tr> <tr><td>その他</td><td></td></tr> <tr><td>一般財源</td><td></td></tr> <tr><td>事業費計 (A)</td><td>0</td></tr> <tr><td rowspan="3">人件費</td><td>正規職員従事人数</td><td></td></tr> <tr><td>延べ業務時間</td><td></td></tr> <tr><td>人件費計 (B)</td><td>0</td></tr> <tr><td colspan="3">トータルコスト(A)+(B)</td><td>0</td></tr> </table>		総投入量 (千円)	事業費	財源内訳	国庫支出金		都道府県支出金		地方債		その他		一般財源		事業費計 (A)	0	人件費	正規職員従事人数		延べ業務時間		人件費計 (B)	0	トータルコスト(A)+(B)			0
総投入量 (千円)	事業費	財源内訳	国庫支出金																												
		都道府県支出金																													
		地方債																													
		その他																													
		一般財源																													
	事業費計 (A)	0																													
	人件費	正規職員従事人数																													
延べ業務時間																															
人件費計 (B)		0																													
トータルコスト(A)+(B)			0																												

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)								
<p>前年度実績(前年度に行った主な活動)</p> <p>分担金を支出した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務費分担金:均等割:100分の10、利用割:100分の90。 ・建設費分担金:人口割で支出。 <p>今年度計画(今年度に計画している主な活動)</p> <p>前年度と同様</p>	<table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア 可燃ごみ収集日数</td><td>日/年</td></tr> <tr><td>イ 不燃ごみ収集日数</td><td>日/年</td></tr> <tr><td>ウ 資源ごみ収集日数</td><td>日/年</td></tr> </table>	名称	単位	ア 可燃ごみ収集日数	日/年	イ 不燃ごみ収集日数	日/年	ウ 資源ごみ収集日数	日/年
名称	単位								
ア 可燃ごみ収集日数	日/年								
イ 不燃ごみ収集日数	日/年								
ウ 資源ごみ収集日数	日/年								
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)								
大船渡地区環境衛生組合	<table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>カ 大船渡地区環境衛生組合決算額</td><td>千円</td></tr> <tr><td>キ 中間処理施設処理能力(可燃ごみ)</td><td>トン/5h</td></tr> <tr><td>ク 不燃物処理施設処理能力</td><td>トン/日</td></tr> </table>	名称	単位	カ 大船渡地区環境衛生組合決算額	千円	キ 中間処理施設処理能力(可燃ごみ)	トン/5h	ク 不燃物処理施設処理能力	トン/日
名称	単位								
カ 大船渡地区環境衛生組合決算額	千円								
キ 中間処理施設処理能力(可燃ごみ)	トン/5h								
ク 不燃物処理施設処理能力	トン/日								
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)								
一般廃棄物の適正な収集、運搬を行う大船渡地区環境衛生組合が、健全に運営される。	<table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>サ 一般廃棄物収集量(大船渡市分集積所～中継施設)</td><td>トン</td></tr> <tr><td>シ 一般廃棄物処理量(岩手沿岸南部クリーンセンター処理、直接処理)</td><td>トン</td></tr> <tr><td>ス 最終処分量(岩手沿岸南部クリーンセンター～最終処分量)</td><td>m³</td></tr> </table>	名称	単位	サ 一般廃棄物収集量(大船渡市分集積所～中継施設)	トン	シ 一般廃棄物処理量(岩手沿岸南部クリーンセンター処理、直接処理)	トン	ス 最終処分量(岩手沿岸南部クリーンセンター～最終処分量)	m ³
名称	単位								
サ 一般廃棄物収集量(大船渡市分集積所～中継施設)	トン								
シ 一般廃棄物処理量(岩手沿岸南部クリーンセンター処理、直接処理)	トン								
ス 最終処分量(岩手沿岸南部クリーンセンター～最終処分量)	m ³								
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)									
発生したごみを適正に処理する。									

(2) 総事業費・指標等の推移

投入量	単位	年度						
		2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(目標)	6年度(目標)	7年度(目標)	
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	都道府県支出金	千円	0	0	0	0	0	
	地方債	千円	0	0	0	0	0	
	その他	千円	0	0	0	0	0	
	一般財源	千円	168,617	174,632	167,907	170,412	209,000	211,000
	事業費計 (A)	千円	168,617	174,632	167,907	170,412	209,000	211,000
	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1
	延べ業務時間	時間	40	40	40	40	40	40
	人件費計 (B)	千円	160	160	160	160	160	160
	トータルコスト(A)+(B)	千円	168,777	174,792	168,067	170,572	209,160	211,160
⑤活動指標	ア	日/年	246	248	247	248	248	248
	イ	日/年	227	223	225	225	225	225
	ウ	日/年	36	35	35	35	35	35
⑥対象指標	カ	千円	280,992	221,675	-	280,000	280,000	280,000
	キ	トン/5h	40	40	40	40	40	40
	ク	トン/日	5	5	5	5	5	5
⑦成果指標	サ	トン	7,291	7,192	6,980	7,000	7,000	7,000
	シ	トン	9,503	9,374	9,237	10,000	10,000	10,000
	ス	m ³	478	475	427	420	420	420

事務事業ID	0087	事務事業名	ごみ処理費等負担金事業（ごみ処理費負担金支出）
--------	------	-------	-------------------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	<p>廃棄物の処理及び清掃に関する法律の規定により、一般廃棄物は市町村が処理することとされている。そこで、昭和45年に大船渡市、旧三陸町、住田町が、ごみの収集及び処分に関する事務を共同処理するため「大船渡地区環境衛生組合」を設置した。</p>
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？	<p>◆組合設立当時は収集した一般廃棄物を焼却処理していたが、ダイオキシン類による環境への影響が問題となり始めたため、平成12年4月から釜石市清掃工場の溶融炉で大船渡地区の可燃ごみ・粗大ごみの処理を開始した。</p> <p>◆平成18年4月、岩手県のごみ処理広域化計画に基づいて岩手県沿岸南部広域環境組合が発足し、施設建設に着手。平成22年12月から試運転を開始。東日本大震災に伴う停電等で運転が停止したが、平成23年4月13日から受け入れを開始した。</p> <p>◆大船渡地区クリーンセンターでは、釜石市清掃工場での処理開始にあわせてラウンドペーリング方式の積込中継施設が整備された。その老朽化と岩手県沿岸南部クリーンセンターでの処理開始にあわせて、ダストドラム方式の積込中継施設としての整備を行い、平成23年9月に完成した。</p>
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	<p>・この事務に対する意見・要望はほとんどない。</p> <p>・件数は少ないが、大船渡地区環境衛生組合の業務に関するものとして、時間どおりに収集して欲しい、不燃ごみと資源ごみの収集日数を増やして欲しいとの要望が寄せられることがある。</p>

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由・内容	一般廃棄物の収集運搬は、広域で共同処理することにより、適正かつ効率的に処理でき、政策体系に結び付く。
	② 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	理由・内容	廃棄物の処理及び清掃に関する法律の規定により、市町村はその区域内の一般廃棄物の収集、運搬、処分を行わなければならない。
	③ 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由・内容	大船渡市内の一般廃棄物は、大船渡地区環境衛生組合が収集運搬しており、対象が限定される。組合が健全運営されることで、ごみが適正に収集されることから、意図は妥当である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない	理由・内容	大船渡市内の一般廃棄物の収集運搬量は、年度によって一定ではないことから、成果の向上余地がない。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	理由・内容	一般廃棄物の収集、運搬及び処分することは市町村の義務であり、廃止や休止することはできない。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由・内容	一部事務組合の事業実績(一般廃棄物収集量)で支出額が増減するので、削減の余地はない。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由・内容	業務時間の大半は組合への負担金支出事務であり、これ以上の削減は不可能である。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由・内容	大船渡市全体の一般廃棄物の処理に係ることであり、全市民が受益者となる

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 改革改善の方向性	(2) 改革・改善による期待成果	(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等																							
<p>1 現状維持</p> <p>※(1)改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入。 (現状維持の場合、コスト及び成果は「維持」) (終了・廃止・休止の場合は記入不要)</p>	<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×	燃えないごみや資源古紙回収などによる資源化を継続するとともに、生ごみの水切りや生ごみ処理容器等の普及促進を通じて、ごみの一層の減量化を推進する。
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		●	×																					
	低下		×	×																					

4 課長等意見

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
1 現状維持	<p>ごみの適正処理のため、現状どおり、継続して事業を実施する。</p> <p>ごみの減量化により負担金の削減が図られることから、ごみの減量化に係る啓発を、別途、実施する。</p>